

連載第60回 横浜市会議員 たけのうち猛 市民とともに



横浜市議員
たけのうち猛
<ご相談・ご連絡先>
公明党金沢支部事務所:
金沢区富岡西 3-38-1-101
TEL : 080-9804-9782
FAX : 045-345-4345
✉ info@takenouchi-takeshi.com
http://www.takenouchi-takeshi.com/

コロナ感染症対策で追加補正予算を可決

国会での第2次補正予算の成立を受け、横浜市会第2回定例会では約187億円の補正予算を計上。感染の第2波に備えた万全の医療提供体制、横浜経済と市民生活を守る支援、学校再開や「新しい生活様式」の構築へ、追加施策を

審議。6月22日の本会議では公明党議員団として市長・教育長に対して以下の要望を行いました。**感染症対策を踏まえた災害避難訓練の実施を** (答弁) 拠点の運営委員会に働きかけ、効果的な訓練となるよう区局が連携して支援を行います。**福祉サービスの運営支援を厚く**

(答弁) 国が行う持続化給付金制度は50%以上の減収等が給付の条件となっていますが、減収幅が50%に満たない福祉事業所について横浜独自の支援制度で福祉サービスの維持を図ります。学校現場の感染症対策資機材の迅速な調達を (答弁) 体温計や換気扇のサーキュレーター等、学校の状況に応じて必要な物品について、学校側の判断で迅速かつ柔軟に購入できるように、各学校に予算を配当します。

【決定した主な施策】

◎検査体制を強化

ドライブスルーPCR検査を14か所に拡大、身近な診療所での検査、往診による検査も実施。抗原検査含めた検査費用の無償化。
※発熱など心配な症状がある方は、まずは身近なかかりつけ医あるいは横浜市感染症コールセンター(☎045-550-5530)にご相談ください。

◎災害避難所の備蓄を強化

アルコール消毒液、マスク、簡易間仕切り、段ボールベッド、体温計などを調達。

◎「新しい生活様式」を支援

中小事業者のテレワークの導入や感染拡大防止のための施設改修、機器購入へ補助金を支給。

◎観光・MICEのV字回復へ

市内観光・宿泊の促進へ、旅行商品の割引や宿泊クーポンなど、販促プロモーションを実施。

◎生活の困難に寄り添う

ひとり親への臨時特別給付金の支給、フードバンクを活用した食料提供、横浜市大学生への授業料免除など、経済的に困窮している方々を支援。自立支援の体制を強化。

◎妊産婦の支援を充実

希望者全員にPCR検査の実施、特定不妊治療費助成の拡充、産後ヘルパーの利用費用の助成など。

◎児童生徒の学びを支援

全487校に非常勤講師、職員室業務アシスタントなどを追加配置。